



CIESF NEWS LETTER

2012 September 第12号

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言⑩】

学問は飯と心得べし。

——三浦梅園(江戸時代の思想家、自然哲学者)

こんにちは。CIESFをご支援くださる皆さま、いつもありがとうございます。そして、この二テスラーを手にしてくださった方々、出会いに感謝します。暑い夏が終わりりましたが、秋も熱く活動してまいります。

今回で第2回目となりました、ミャンマーで起業家を育成するための「ビジネスプランコンテスト」の表彰式が9月1日、ヤンゴンで開催されました。このコンテストは、CIESFとミャンマー商工会議所との共催で、6月からプランを募集しており、審査と研修を経ての8月29日に最終選考会がありました。そこで受賞を勝ち取った3チームが表彰式で賞金を授与されました。



Level2の優勝チーム。ビジネスプランは「Mobile Lunch Box Hygienic Food (衛生的で便利なお弁当)」

今年も昨年同様Level1以下の学生向けにLevel2以下の若者2つのレベルで選考が行われました。各受賞チームの今後の活躍を期待しながら、起業支援を行っていきたく思っています。

カンボジア写真展 国境なき教師団」も太陽の国の未来へを開催しました

定年退職後に現地の教員養成学校で活動しているベトナム教師「国境なき教師団」の教育アドバイザーは、教育の質の改善のために日々奮闘しています。2年間現地にいた彼らの視座で見た、カンボジアの教育現場、街や農村の風景子どもたちの様子を展示した写真展を8月29日から31日の3日間、日本アセアンセンターで開催し、猛暑の中、多くの方々が足を運んでくださいました。



30日の午後は、元教育アドバイザーの先生、井手上先生、面矢忠彦先生、面矢歌子先生)3名による、トピックセッションを開催し、カンボジアの教員養成校の様子や、カンボジアと日本の子どもの違いなど、経験談を語っていただきました。カンボジアでは給料が少なく、決して楽な仕事ではない教師ですが、教員養成校への入学倍率

は高く、学生も真剣に学んでいます。良い先生になつて、カンボジアの教育をより良いものにならせたいと願う学生の話に感動していた方も多くいらっしゃいました。今後もCIESFの



教員養成校の学生の学習姿勢についてお話しくださった面矢歌子先生(真中は面矢忠彦先生・向かって右は井手上末生先生)

活動を皆さまにダイレクトに知っていただけるイベントを企画して行きたいと思っております。ご来場くださった皆さまには、この場を借りてお礼申し上げます。

写真を少し紹介します)



↑週1時間の農業の授業。各クラスに割り当てられた畑を耕して、野菜を作ります。体育着がないので、制服のまま作業をします。(撮影:井手上末生)

↓お花を摘んだ子どもたち。おや、いちばん小さい子の頭の上には、かわいらしい冠が乗っていますね。(撮影:面矢忠彦)



「国境なき教師団」募集中



現在8名の日本人の先生が「国境なき教師団」の教育アドバイザーとして、プノンベン・ブレインの教員養成校で活躍されています。理数科の基礎力が弱いとされているカンボジアでは、理数科限定で支援を行っています。先生たちの活動は、着実に実を結びはじめています。これまで延べ14人の方が、カンボジアで活動しました。教師経験者の方へぜひお力を貸してください!

募集説明会

日時: 9月19日 水 15時~17時
会場: 公益財団法人CIESF 事務局

※詳細は事務局までお問い合わせください。

「国境なき教師団」とは、国境を越えて教育支援を行うCIESFのベトナム教師たちの組織です。「国境なき教師団」に所属する教育アドバイザーは毎年大勢の教師の卵を育てているカンボジアの教員養成校の教官たちと一緒に教師レベル向上のための活動を行っています。

お帰りにさい&行ってらっしゃい

2010年9月からブレイン中学校教員養成校にて理科の教育アドバイザーとして活動していた小室桃子先生が、2年間の活動を終え帰国しました。小室先生のご活躍は、昨年3月NHKBS1の番組「ミッシェン」にも取り上げられました。



9月から新たに真鍋憲昭先生がブレイン中学校教員養成校に

に理科の教育アドバイザーとして赴任いたします。小室先生お帰りにさい、お疲れさまでした。真鍋先生行つてらっしゃい、これからよろしくお願いたします。

法人サポーター・個人サポーター募集中

CIESFの活動は、皆さまのご支援で成り立っています。法人と個人のサポーターを随時募集中です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

シーセフ

検索

Facebook

おかげさまでもちまして、9月の時点で197人以上の方が「いいね!」を押してくれました。7月よりも約30人増えました! より多くの方が遊びに来てくれることを楽しみにしています。投稿やコメントなども残していたら嬉しいです。いただいたコメントに対するお返事100%を目指しています。

<http://www.facebook.com/ciesf>
「いいね!」をお願いします。

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地レポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトにて絶賛公開中です!

プノンベン小学校教員養成校で活動している教育アドバイザー 寛八郎先生の活動日誌を9月7日に掲載しています。



ぜひ読んでみてください♪

<http://www.ciesf.org>

発行: 公益財団法人CIESF 日本事務局
〒107-0062
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

編集後記

ハッピーマンデーなるものが導入されて以降、10月10日が「体育の日」では(ほぼ)なくなりました。そもそも10月10日が体育の日になった理由は、1964年の東京オリンピックの開会式の日であり、観測史上最も晴れ率が高かった「晴れ特異日」という素晴らしい日であるから。2012年現在の「晴れ特異日」は11月3日なのだそうです。「文化の日」ではないか! 晴れあがった空のもとでの「文化の日」は、もしかしたら運動するより、素敵な過ごし方ができるかもしれないと、文化系運動オチの私は思ったのです。ちなみに「文化の日」は明治天皇の誕生日、文具の日、ちゃんぽん麺の日。(Y.M)